



© JFA / PR



NADESHIKO JAPAN

VOL.40 2022.7.29

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

香川県

長尾 文博さん

【中学校年代への取り組みについて】

2021年度に中学年代の「初心者ガールズスクール」をキックしました。これは最初に丸亀市教育委員会にアプローチし、市内全中学校の女子生徒全員に初心者ガールズスクールのリーフレットを配布してもらいましたが、コロナ禍による度重なる延期を繰り返し、思うように開催できていません。やっと11月に1回目を実施しましたが、初心者の参加はなく、経験者10名による実施となってしまいました。また12月以降の開催についてもコロナ禍により中止となってしまいました。2022年度は年度当初に年間計画を立て、第1回目を6月26日に市内の民間フットサル場2面を使い実施しました。今回は丸亀市だけでなく、坂出市、善通寺市の全中学校にもリーフレットを配布し、万全の態勢で臨みましたが初心者の参加はなく、11名の経験者の参加にて実施しました。各トレーニングだけでなく遊びの要素も取り入れ楽しく実施できております。以後、年度内残り6回のスクールを実施予定ですが、初心者を呼び込む工夫を重ね、成功に導きたいと考えます。また中学年代の登録者数向上についてもアプローチを続けます。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

従来四国地区ではガールズゲーム四国に各県3チーム、計12チームで大会を実施してきました。ガールズゲーム四国は過去にあった女子の四国大会を引継ぎ、ガールズゲーム四国に継承させております。U-12年代の四国唯一の大会ということで、過去から大会優勝チーム及び準優勝チームを関西で実施される大会選考も兼ねていることから、どうしても勝敗にこだわる傾向が強く、普及という意味での大会ができておりませんでした。そこで本年度4月に各県4種委員長及び4種技術委員長を集め、四国4種委員長会議を開催し、本年度大会（12月）から普及として本大会に取り組むことを決議しました。当然上位大会への推薦枠を撤廃し、各県への普及としての本大会チーム選出を依頼しております。今年度大会は12月に開催しますが、大会の普及色を拡大させるため、各県のチーム選考に際しましては女子選手の拡大も含め、普及につながる施策として進めて参りたいと考えます。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

2021年度は3月に開催予定で、レディース及びガールズの全年代を対象にゲーム・アトラクションだけでなく世代間を超えた交流を予定しておりましたがコロナ禍の為、中止となってしまいました。本施策ではU-12年代女子の母親を呼び込み、レディースチームへの誘導も考え、経験者及び初心者ゲームも企画していました。2022年度も3月に開催予定ですが、全世代交流の企画を考え、初心者の誘導も併せて実施したいと考えます。そのためにも年間を通じた女子施策を重ねて行きたいと思えます。

【今後の目標】

U-12年代に対して県内で進めてきました合同チームでの公式戦（全3大会）及び地域（4地域）ガールズスクールも軌道に乗り、女子登録選手も若干の拡大傾向に転じてきました。また昨年度から企画した初心者ガールズスクールも成功とは言えませんが本年度第1回目が開催できました。但し、2種及び3種年代でのチーム数は少なく、県内空白地区も若干存在します。本年度は中学年代の初心者対象の施策を考え、増加に転じたU-12女子の継続登録と2種、3種年代女子の拡大を仕掛けて行きたいと思えます。また、レディース年代の活性化の為、U-12年代の母親に対しても各種施策検討を進めていきたいと思えます。そのためにもキッズ・4種・3種・2種・技術との連携を深め、一貫性のある協会運営を進めていきたいと思えます。

私は香川県FAの女子普及コーディネーターだけでなく、4種委員長、キッズ委員長、女子副委員長も兼務していますので各種別間連携についても更なる工夫を加速させ、女子選手の登録拡大に向け努力したいと考えています。



普及コーディネーター取り組み事例紹介②

徳島県

田村 博さん

【中学校年代への取り組みについて】

昨年度、中学校女子サッカーフェスティバル参加の機会をコロナにより失ってしまいました。

今年度、月2回開催しているなでしこひろばの女子サッカー教室に、女子中学生が4名参加してくれました。その中の1人は、3種のチームで独りで頑張っているフェスティバルに参加予定だった選手です。在籍中学校の友達（サッカー未経験者）を連れて参加してくれました。嬉しいサプライズでしたが、小さなアクションを広げられるよう大切にしていきたいと思います。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

ガールズゲーム四国（四国大会）の試合形式について、3ピリオド制の導入が決定しました。登録選手全員に出場機会を与える試みです。新しいことを始めれば同時に課題も出てくるものと思いますが、多くの女子選手の目標となる大会となるようサポートしていきたいと考えています。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

ウォーキングとサッカーの融合スポーツであるウォーキングフットボールを推進しています。年齢を問わず、みんなで一緒に楽しむことが魅力です。ウォーキングの3倍以上の消費活動量、乳酸が溜まりづらく筋肉に過剰な負荷をかけないため、成長期の競技者のウォーミングアップやダイエット目的にも最適です。幅広い世代や目的に対応できるため、今後も継続、発展させていきたいと考えています。



【今後の目標】

登録拡大推進事業として、キッズエリートプログラムにあたる「キッズひろば」の活動をスタートさせました。キッズひろばでは、多様な子どもたちの多様な上達の仕方を大切に、それぞれがどう上達し、どう楽しむかの体験をたくさんできるようにサポートしていくことを目的として、女子サッカー教室やなでしこひろばとの並行開催、4種大会事業との連動、スモールサイドゲームの推進等を含め工夫しながら進めています。キッズ巡回指導先、未登録者や未経験者にアプローチしながらたくさんの女の子がサッカーを始め、続けられるきっかけになればと思います。



普及コーディネーター取り組み事例紹介③

愛媛県

赤瀬 文さん

<広げよう“女子サッカーの輪”>

【中学校年代への取り組みについて】

現在、女子登録の中学生が所属しているチームは中学校2チームを含む7チームあり、それぞれ東・中・南予の愛媛を3つに分けた地域の中学校年代の受け皿となっています。U14県トレセンでは3種のクラブチームに所属している選手にも案内を行い、女子だけでプレーできる機会を県トレセンで設けています。今後、U14トレセンからU16トレセンへスムーズに移行することが課題です。中学校年代では女子、3種、中体連で連携をとり、どこに選手がいるか(所属しているか)を常に把握していきたいと思っています。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

愛媛県はコロナ禍にも関わらず2020年度、2021年度ともに小学生女子の登録者数が前年度より増加しました。2021年度においては過去最高の登録者数となりました。これは多くの4種チームで女子選手の受け入れがすすんでいるものだと考えます。

今年6月に行われた愛媛県女子ユース(U-12)サッカー選手権大会では8チームが参加しました。今年度から新たに出場したチームもありました。松山市を含む中予地区では少女チームが増えています。他の地域でも少女チームが増えるように情報共有などカテゴリーを超えて行えるようにしていきたいです。県トレセンなど女子だけでプレーできる機会はありますが、より多くの女子選手に女子だけで試合をするという経験ができるように環境を整えていきたいと思っています。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

年数回のフェスティバルとJFA女子サッカーデーが実施されていますが、昨年度はコロナの影響もありフェスティバルが実施できても参加者募集を大々的に行うことができませんでした。今年度は未経験者・初心者が多く参加してもらえるようなイベントにする必要があります。また、こういったフェスティバルの運営に関わる人を女子委員会以外からも増やしていきたいと思っています。

【今後の目標】

今年度の新たな取り組みとして、1つ目に「県内女子サッカーチーム案内リーフレット」を作成しました。2018年にも同様のものを作成しましたが、掲載チームが8チームから13チームとなり、協力してくれるチームが増えたことはとても嬉しかったです。イベント時に配布したり、サッカーをしていない人に手に取ってもらうために公共施設等に設置依頼を行っていく予定です。



愛媛県協会では女性活躍推進が積極的にすすめられ今年度より女性理事が7名に増加し、サッカーに関わる女性のための環境整備を目的とする『女子プロジェクト』という組織も立ち上がりました。

こういった流れを受けて女子の普及活動も幅を広げていけたらと思います。地道ではありますが、継続的な活動を心掛けて行っています。

2つ目の取り組みとして女子委員会主催の「JFAなでしこひろば」を実施することとなりました。6月12日に第1回目が開催され、JFAアカデミー今治さんのご協力のもと実施しました。今年度の会場はすべて今治市内の予定ですが、来年度以降は県内各所で開催し実施回数も増やせるように計画していきたいと思っています。新たな取り組みを通して、普及活動に新たに協力してくれる“仲間”も積極的に増やしていきたいです。



普及コーディネーター取り組み事例紹介④

高知県

公文 葉子さん

くつなぎ、継続できる環境整備のために。>

【中学校年代への取り組みについて】

中体連での登録選手もあまり多くないですが、本年度は中学校から新たにサッカーを始めた人や、女子が複数名在籍している中学校もみられるようになりました。やはり、先輩に女子選手がいることで、興味をもった人が入りやすいのではないかと考えています。昨年度は小学生対象のガールズサッカーフェスティバルに中高生がお手伝いに行くなどして、小学校卒業後のイメージがしやすいように努めました。本年度も継続して取り組みたいと考えています。また、中体連所属の選手を集めて継続的なスクールを行いたいと思い、現在計画中です。高知県は広いため、2~3カ所の地域で開催することで、集まりやすいようにしたいと考えています。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

四国はこれまでもU12年代の女子の大会を行っていました。これは、元々は女子の種別で行っていた大会を、4種移行後も継続して取り組んでくださっていた大会です。そのため、「ガールズゲーム」と名称は変更されたものの、活動の中身としては高知県はほとんど変更ありません。4種年代で女子のみのチームがないため、それぞれの地区で女子選手が集まって活動しています。近年は1つの地区では女子選手が少なくなってきたとの声も聞こえてきていますので、近隣の地区をつなげて継続した活動ができるようにしていきたいと考えています。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

高知県では、女子サッカーデーが創設される以前から、2~3月のどこかでフェスティバルを実施していました。例年、ママさんのゲームをしており、1年間の中でもママさんチームにとっては楽しみの一つとなっています。日程的に高校生がテスト期間と重なることから、女子全体で行うことは難しくなりましたが、その分キッズとママさんのフェスティバルとすることで、ママさんも参加しやすくなったのではないかと考えています。また、同日にガールズエイトの練習会を抱き合わせにするなど、4種やキッズ委員会と連携して進めていきたいと考えています。

【今後の目標】

4種年代では県下で女子選手も4年生以上で各学年が30人程度ずつ在籍しているものの、中学校に上がる時には1桁となっているのが現状です。中学校で男子との活動が難しい選手にとっては、女子のみのチームに通うことが地理的に難しい場所も多く、サッカーをやめてしまう選手が多いです。そのため、中学校では違う部活をしながらでも、サッカーを続けたいという選手もいると思いますので、そういった選手や中体連でサッカーをしている選手が集まれるようなスクールが定期的に行えないか検討しているところです。少しでも多くの選手がサッカーを継続して出来る環境を整備していきたいと考えています。

新しい世界へ踏み出す第一歩を応援する女子サッカーの新プロジェクト 「JFA Magical Field Inspired by Disney」発足のお知らせ



日本サッカー協会（以下JFA）はこの度、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：キャロル・チョイ、以下 ディズニー）のコンシューマ・プロダクツ部門と共に、女子サッカーの新プロジェクト「JFA Magical Field Inspired by Disney」を発足します。このプロジェクトでは、サッカーを通じて、子どもから大人まで、すべての女性の新たな世界に踏み出す一歩を応援します。

JFAはこれまで、「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。」を理念として掲げ、様々な取り組みを通じて実現してきました。そしてディズニーはエンターテインメントを通じて勇気や希望、感動を提供するとともに、夢に向かって努力することの大切さを伝えてきました。

そして今回は「人や社会や地球をヘルシーにする活動」を楽しい体験として昇華し推進していく、ディズニー・コンシューマ・プロダクツのパートナー向けプログラム「ディズニー ヘルシー・テイメント」に賛同し、新プロジェクト「JFA Magical Field Inspired by Disney」を通じて、自分自身にとっての新しい挑戦や新しい世界へ踏み出す一歩目を応援し、それぞれの個性を尊重し、さらに魅力を発揮していくようなメッセージを伝えてまいります。

その中でJFAは、中期計画内で「重点3領域」に位置づけている「女子」や「4種年代」における取り組みをディズニーとともに進めていくことで、サッカーファミリーのさらなる広がり、そしてサッカーファミリーの方々のさらなる楽しみを醸成するためのプログラムを、本プロジェクトを通して提供します。

新プロジェクトのキックオフとして、ディズニープリンセスを起用し、この夏から小学生サッカー未経験者を対象とし、誰でもサッカーを楽しめる「JFAファミリーサッカーフェスティバル “First Touch”」を7月16日（土）より全国7ヶ所で開催します。お子様1名、保護者・引率者1名のペアでご参加いただく体験プログラムで、参加費は無料。参加者にはディズニープリンセスがデザインされた本イベント限定のユニフォームとボールをプレゼントし、参加したその日だけでなく、その後もサッカーを楽しんでいただけるキットを準備しています。

なお、本プロジェクトのキャプテンに澤穂希さんが就任。すべての女性のチャレンジに寄り添います。

特設サイトでは、ディズニープリンセスからのメッセージの掲載や、プロジェクトムービーも公開中。
「JFA Magical Field Inspired by Disney」の今後の展開に、ご期待ください。



JFA Magical Field Inspired by Disney 特設サイト : https://www.jfa.jp/grass_roots/MagicalField

【JFA Magical Field Inspired by Disneyについて】

たった一步で、世界は広がる。

新しい自分に、出会ってみたい。

だったらまずは、あなただけの可能性を、
思いっきり信じてみよう。

自分のペースで、いい。

好きなやり方で、大丈夫。

あなたらしく、夢中で楽しむうちに、
仲間はきっと、増えていくから。

さあ、希望と勇気を力にかけて、

はじめてのフィールドに、踏み出そう。

JFA
Magical Field
inspired by **Disney**

【JFAファミリーサッカーフェスティバル “First Touch” について】

小学1～3年生のサッカー未経験者を対象とした、誰でも楽しめるサッカーフェスティバルです。お子様1名と、保護者、引率者1名のペアでご参加いただくプログラムを全国で展開します。各会場1日2回の実施で、1回に当たり50組100名の参加を募集。参加費用は無料です。7月16日(土)の大阪府のヨドコウ桜スタジアムでの開催を皮切りに、全国7ヶ所での開催※を予定しています。

会場には、天然芝のピッチでサッカー教室に参加できる「プレーランド」に加え、場外にはプレーランド参加者以外も撮影可能なフォトスポットを設置し、サッカーとディズニープリンセスの世界観を楽しめます。



JFAファミリーサッカーフェスティバル “First Touch” のサッカー教室で行われる、このイベントのために作られた90分間のプログラムの多くは、参加者がペアで取り組む内容で構成されており、基本的な身体の動かし方からキックやシュートの練習、ミニゲームなどを通して、楽しくサッカーボールに触れることができます。これまでの経験がなくても、サッカーの楽しさや面白さを知っていただくきっかけになることを目指しています。また、「プレーランド」で使用するカラーコーンやゴールには、本イベントオリジナルのデザインが施され、ディズニープリンセスの世界観の中で、新たな挑戦の一步を、楽しく踏み出せるように工夫をしています。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、変更・中止となる可能性がございます。また、荒天の場合は中止となる可能性がございます。

【開催概要】

名称 JFA Magical Field Inspired by Disney ファミリーサッカーフェスティバル “First Touch”

主催 公益財団法人日本サッカー協会、開催地都道府県サッカー協会

共催 ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

主管 開催地都道府県サッカー協会

対象 小学校1年生～3年生（サッカー初心者、未経験者）とその保護者

開催日：場所

7月16日(土) ヨドコウ桜スタジアム（大阪府）

7月23日(土) Axisバードスタジアム（鳥取県）

8月6日(土) トランスコスモススタジアム長崎（長崎県）

9月10日(土) 高円宮記念JFA夢フィールド（千葉県）

9月19日(月・祝) 新青森県総合運動公園陸上競技場（青森県）

11月27日(日) 石川県西部緑地公園陸上競技場（石川県）

12月4日(日) サンガスタジアム by KYOCERA（京都府）

※その他 各会場イベント概要、参加申込情報は特設サイトでお知らせします。

【参加者オリジナルプレゼントについて】

各会場で開催される、サッカー教室に参加されたゲストには、下記サッカーキットをプレゼントします。

・オリジナルユニフォーム

【仕様】

デザイン：6種類

お子様サイズ：130cm

大人サイズ：Lサイズ（メンズ）

※ランダムにお渡しいたしますので、
デザインの指定はできかねます。



・オリジナルサッカーボール

【仕様】

デザイン：1種類

サイズ：3号球



【JFA Magical Field Inspired by Disney プロジェクト協賛社】



【「ディズニー ヘルシー・テイメント」について】

「ディズニー ヘルシー・テイメント」とは、ディズニー作品の「ストーリー」の力で、ビジネスパートナーのみなさまが行っている「人や社会や地球をヘルシーにする活動」を楽しみ体験として昇華し推進していく、ディズニー・コンシューマ・プロダクツのパートナー向けプロジェクトです。

「ヘルシー、たのしい、ストーリー。」をスローガンに、「体を整える」「身に着ける」「家で過ごす」「未来を知る」という4つの分野から、商品の物質的な豊かさだけでなく、ゲスト一人一人の心を豊かにするような、ヘルシーでよりサステナブルなアイテム、サービスを世に生み出していきます。

<https://healthytainment.disney.co.jp/>

【JFA TV】 こちらもごらんください！

<https://www.youtube.com/watch?v=B0jNucFosGo&t=6s>

<https://www.youtube.com/watch?v=RKXJEWdmavc&t=2s>

【開催の様子をご紹介します】



◆高岡市サッカー協会（富山県）7月3日（日）

高岡市サッカー協会は、地元の高岡クイーンズの協力のもと、2021年度より「JFAなでしこひろば」を開催しています。6月にも開催しましたが、3回目となる今回は、26名の女子児童と中学1年生や保護者の方も参加していただき、総勢40名が全身を使った遊びからボールワークを行った後に、ゲームを楽しみました。



また同日、JFAなでしこひろば開催の隣の芝生広場では「第25回高岡ファミリーサッカー・フェスタ」も開催されました。年中・年長児、小1女子、その母親世代を対象にスポーツの理解とサッカーのきっかけ作りを目的に2008年から開催し今年で25回目を迎えました。子ども4人とママさん2人の6人編成で、勝ち負けを競わずサッカーを楽しみます。順位付けや表彰は行わず、閉会時にたくさんのお土産を参加者の皆様に贈呈して終了しました。



高岡市サッカー協会では、今年度より「高岡なでしこアカデミー」として女子サッカーの普及活動を実施しています。興味がある方は <https://toyfa.jp/?tid=100760> こちらからお問い合わせください！

◆Teine EGZAS FC（北海道）6月19日（日）

第31回JFAなでしこひろば in 手稲を開催させて頂きました。

毎回参加してくれるリピーターさんに加え、初めて参加してくれたちびっ子たちも、女子選手主体のチームが主催ということもあり、女子中学生コーチと一緒に楽しくボールを使ってたくさん遊ぶことができました。

1時間弱のキッズ部門ですが、途中からサッカーチームで少しトレーニングしている子や、幼稚園児よりも体の大きい小学生と、初心者の幼稚園児とを体育館半面に分けて、誰もが楽しめるよう臨機応変にその日のメニューを変えながら行っております。

2部は経験者の小学生高学年が参加だったため、ゲームを多めに女子中学生コーチたちと一緒にゴールを目指し、気持ちよく汗を流していました。

今後も月1回の開催を目標に、たくさんの人達にサッカーの魅力、ボールを使って遊ぶ楽しさ、当チームの活動を知ってもらえるようJFAなでしこひろばを活用していきたいと思えます。



【なでしこひろばデータをまとめてみました】

都道府県別認定団体数及び2022年6月開催申請数

| 都道府県 | 団体数 | 開催申請数 | 都道府県 | 団体数 | 開催申請数 |
|---------|-----|-------|---------|-----|-------|
| 1 北海道 | 16 | 4 | 25 滋賀県 | 7 | 1 |
| 2 青森県 | 5 | | 26 京都府 | 8 | |
| 3 岩手県 | 5 | 13 | 27 大阪府 | 18 | 4 |
| 4 宮城県 | 11 | | 28 兵庫県 | 10 | |
| 5 秋田県 | 3 | | 29 奈良県 | 3 | |
| 6 山形県 | 2 | | 30 和歌山県 | 3 | |
| 7 福島県 | 2 | 1 | 31 鳥取県 | 6 | 4 |
| 8 茨城県 | 9 | 1 | 32 島根県 | 1 | |
| 9 栃木県 | 16 | 4 | 33 岡山県 | 11 | 3 |
| 10 群馬県 | 5 | 1 | 34 広島県 | 10 | 1 |
| 11 埼玉県 | 37 | 3 | 35 山口県 | 2 | |
| 12 千葉県 | 12 | | 36 香川県 | 8 | |
| 13 東京都 | 60 | 10 | 37 徳島県 | 5 | 2 |
| 14 神奈川県 | 24 | | 38 愛媛県 | 4 | 1 |
| 15 山梨県 | 6 | | 39 高知県 | 2 | |
| 16 長野県 | 11 | 4 | 40 福岡県 | 13 | 1 |
| 17 新潟県 | 7 | 2 | 41 佐賀県 | 6 | 1 |
| 18 富山県 | 4 | 2 | 42 長崎県 | 6 | 1 |
| 19 石川県 | 6 | | 43 熊本県 | 4 | |
| 20 福井県 | 5 | 2 | 44 大分県 | 5 | |
| 21 静岡県 | 13 | 1 | 45 宮崎県 | 3 | |
| 22 愛知県 | 22 | 4 | 46 鹿児島県 | 2 | |
| 23 三重県 | 10 | | 47 沖縄県 | 8 | |
| 24 岐阜県 | 5 | | 合計 | 441 | 71 |

【2022年6月データ】

- ・全国登録団体数 : 441団体
- ・新規登録団体数 : 3団体
- ・認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (60団体)
 - 2) 埼玉県 (37団体)
 - 3) 神奈川県 (24団体)
- ・全国開催申請数 : 71開催

暑中お見舞い申し上げます。久しぶりに行動規制のない夏休みになりそうですが、新型コロナウイルス感染症の陽性者数も全国的に増加しており、引き続き、うがい・手洗い・睡眠など、基本的なことに気をつけて、皆様、楽しい夏休みをお過ごしください！そして、厳しい暑さも長引きそうですので、適宜十分な休憩や水分補給など、熱中症への対策もお願いいたします。なでしこひろば開催後の活動報告もお待ちしております！

【事務局の受け付けが変更になっております】

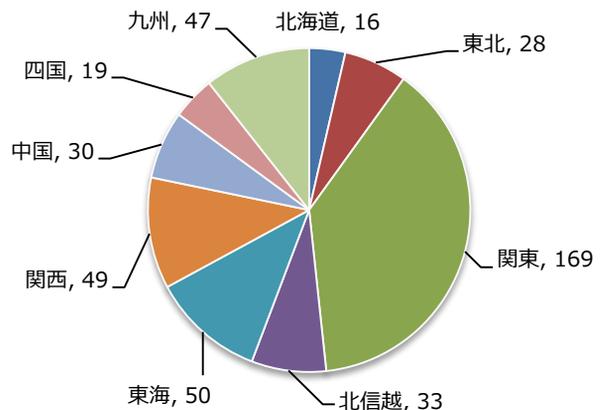
2021年4月から、なでしこひろば事務局の受け付け・お問い合わせ方法をメールのみの対応とさせていただきます。

これまでの電話受け付けがなくなり4月1日以降はメールのみの対応とさせていただきます。各団体様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど重ねてお願い申し上げます。

E-mail : info@nadeshikohiroba.jp
(今までのアドレスと変更ありません)

地域別認定団体数

| | |
|------|-------|
| 北海道 | 16カ所 |
| 東北 | 28カ所 |
| 関東 | 169カ所 |
| 北信越 | 33カ所 |
| 東海 | 50カ所 |
| 関西 | 49カ所 |
| 中国 | 30カ所 |
| 四国 | 19カ所 |
| 九州 | 47カ所 |
| 【合計】 | 441カ所 |



<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>

※次回は2022年8月12日(金)ごろ配信予定です。お楽しみに！